

吉田財団設立40周年記念事業
令和7年度 特別助成金 活動報告書

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の名称	主体的に未来を切り開く朝高人材育成プロジェクト			
学校名	福岡県立朝倉高等学校			
学校長名	平川 正洋			
報告者	江中 智子			
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外部講師によるワークショップをとおして生徒の対話的な学びを促進する。 2. 協働的・体験的活動をとおして、自己指導力及び非認知能力の育成を図る。 			
実施日(期間)	令和7年7月22日 ～ 令和7年12月22日			
行事・活動の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学教授によるワークショップ(全日制課程1、2年生) 2. 小石原陶芸教室(定時制課程1、4年生) 3. 大学訪問・太宰府研修(定時制課程2、3年生) 			
対象者・人数	全日制1年80名・2年80名、定時制1年20名・2年24名・3年18名・4年14名			
目標達成の状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップで問題解決の思考法を体感し、意見を積極的に発信することができた。 2. 協働やものづくりの喜びを味わい、地域の伝統文化への理解を深めることができた。 3. 専門的な学びへの興味・関心を高め、主体的なキャリア形成へと繋げることができた。 			
教育的効果・成果に対する所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. ディスカッションを通して講師や他の生徒から刺激を受け、生徒が自発的にキャリア形成に向かう姿勢が育った。 2. 生徒が自己理解を深めると同時に互いの個性を尊重する態度、郷土を愛する心を身に付け、協働の喜びや達成感を味わうことで自己肯定感が高まった。 3. 生徒が高い志、夢や希望をもって、主体的に進路を選択する力が身に付いた。 			
3年先の姿(希望)に向けた活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野をもち、対話をとおして問題解決に当たり、国内外で自信を持って活躍する人材を育成するために、ワークショップ型研修を実施する。 2. 地域社会に貢献できる人材を育成するために、地域での協働的な体験活動を継続する。 3. 自ら人生を切り拓き、社会的に自立した人材を育成するためにキャリア教育を推進する。 			
経費区分	合計金額	会計報告		備考
		助成金	自己負担	
交通費等	155,450	155,450	0	
陶芸体験経費	67,950	35,870	32,080	
講師交通費	138,680	138,680	0	
合計	362,080	330,000	32,080	

※ 助成金の使途については、領収書(写し可)を任意の台紙に添付して、ご報告願います。